

提供日 2013/06/13
タイトル 「咽頭結膜熱」が増加しています！
担当 危機管理部 危機報道監
連絡先 健康福祉部 医療健康局 疾病対策課
TEL 054-221-2986



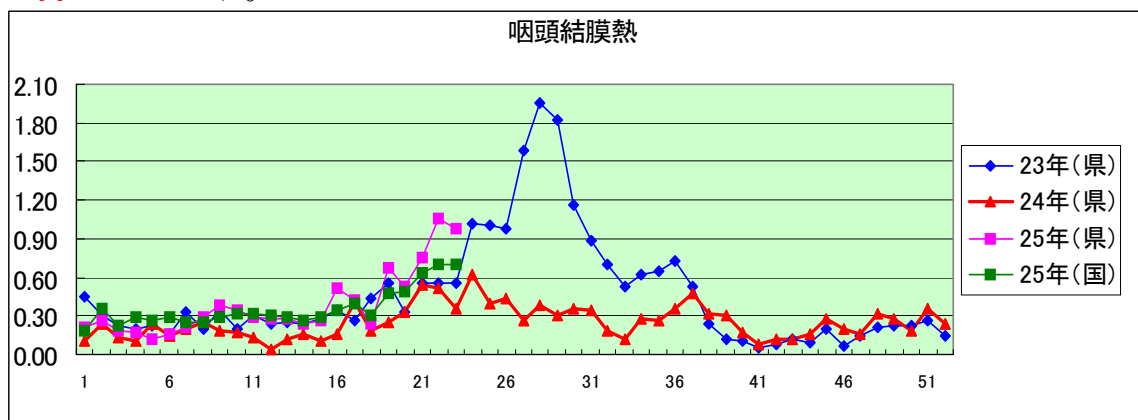
—危機管理情報—

いんとうけつまくねつ 「咽頭結膜熱」が増加しています！

1 要旨

咽頭結膜熱は、発熱、咽頭炎（ノドの炎症）、結膜炎（目の充血、かゆみ、目ヤニ）の症状を主とする、アデノウイルスによる小児の急性ウイルス性感染症で、プールでの感染も多いことから「プール熱」とも呼ばれています。

一般的に夏季に流行する傾向がありますが、感染症発生動向調査によると、定点当たりの患者数は静岡県全体で、第22週（5/27～6/2）が1.06、第23週（6/3～6/9）が0.98と2週連続で高い値を維持しています。



2 症状

- ・5歳以下が約6割を占めています。
- ・5～7日の潜伏期を経て、発熱（38℃以上の高熱）で発症し、頭痛、食欲不振、全身倦怠感とともに、ノドの炎症による痛み、結膜炎（目の充血、かゆみ、目ヤニ）が現れます。結膜炎は一般的に片方の目から始まり、その後もう片方の目に現れます。
- ・これらの症状は3～5日程度続きます。

3 予防

- ・手洗いの徹底が基本です。プールを介しての感染防止には水泳前後のシャワーも有効です。
- ・患者の咳やくしゃみで排出されたウイルスが口から侵入する（飛沫感染）を防ぐためにうがいをしましょう。
- ・患者が触れたものからの感染（接触感染）を防ぐために、患者とのタオル等の共用は避けましょう。

4 もし、症状が現れた場合

発熱とともに、ノドの痛み、結膜炎の症状が現れたら、**早めにお近くの医療機関を受診**してください。

※国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>